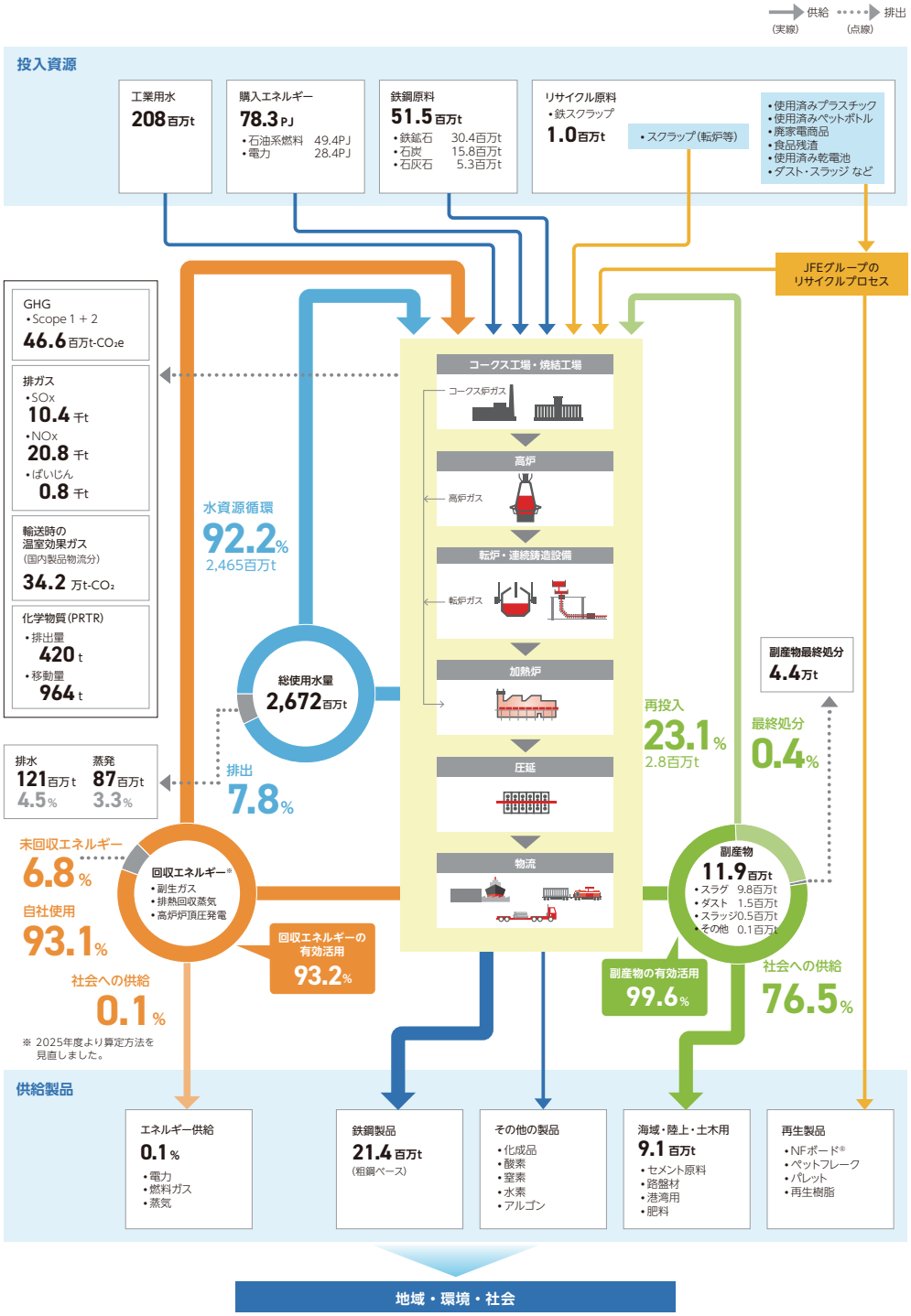
環境データ

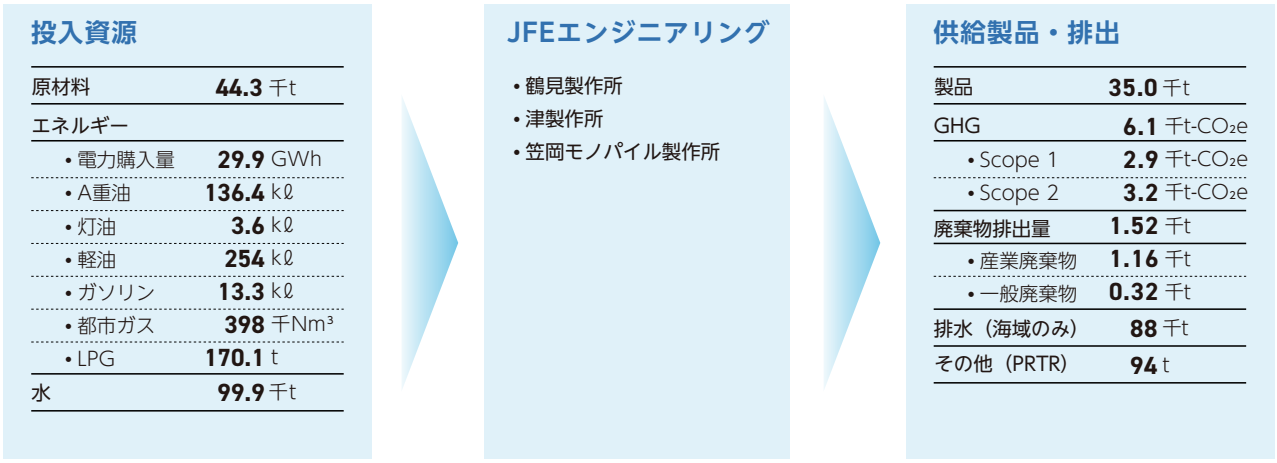
マテリアルフロー

JFEスチールは、製鉄プロセスにおける環境負荷の低減と資源の有効活用を進めています。生産工程で使用する水は92.2%を循環利用しており、鉄鋼スラグなどの副産物は99.6%を資源化しています。生産工程で生成する副生ガスは鋼材加熱用や自家発電用の燃料としているほか、社会に供給するエネルギーとして93.2%有効に活用しています。

JFEスチールのマテリアルフロー(単体)



JFEエンジニアリングのマテリアルフロー（本社・製作所）



※ 対象範囲の表記：
JFEグループ（全社）、JFEスチールグループ（ST Gr）、JFEスチール（ST）、JFEエンジニアリンググループ（EN Gr）、JFEエンジニアリング（EN）、JFE商事グループ（SH Gr）、JFE商事（SH）

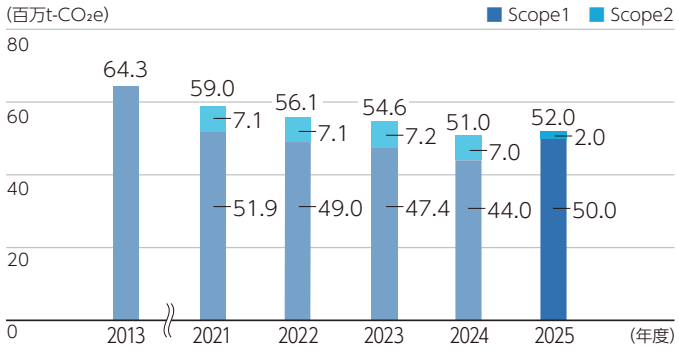
※ GHG排出量の集計方法および集計範囲を2025年度より変更しており、今後も範囲の拡充を図っていきます。
変更内容の詳細は各項目に記載しています。

環境関連指標

分野	事業会社	2025年度目標	2025年度の実績・関連ページ
温室効果ガス・エネルギー	ST	• 2027年度GHG排出量削減率：24%以上削減（対2013年度比）	P.275
	EN	• 自社工場、オフィスにおけるCO_2排出量削減率：40%削減（対2013年度比） • 再生可能エネルギーに関する発電施設の提供と電力供給事業の拡大等によるCO_2削減貢献量：1,250万トン/年	P.275,277
	SH	• 2025年度国内CO_2排出量：2019年度比22.5%削減	P.275
化学物質	ST	• VOC排出量：2000年比30%減（1,078t以下） • ベンゼン排出量：1999年比80%減（46t以下） • ジクロロメタン排出量：1999年比40%減（46t以下）	P.279
資源活用	ST	副産物の再資源化率：99%以上	P.280
	EN	建設現場でのリサイクル率 • がれきリサイクル率：99.5%以上 • 汚泥リサイクル率：95.0%以上 • 産廃リサイクル率：85.0%以上 オフィス資源物再生資源化率 • 横浜本社：98.0%以上	P.281
	SH	鉄スクラップのグローバルな資源循環 • 2020年度取り扱い数量以上 （2025年度目標：2020年度比5%増）	P.280
水使用	ST	水資源の高効率利用の維持 循環利用率：90%以上	P.282

温室効果ガス・エネルギー

JFEグループのGHG排出量(Scope1,2)



JFEグループのGHG排出量(Scope1,2)

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
Scope1・2合計※1※2		全社	百万t-CO₂e	59.0	56.1	54.6	51.0	52.0
		ST Gr	百万t-CO₂e	58.6	55.7	54.1	50.8	51.5※3
		ST※4	百万t-CO₂e	54.7	52.3	50.0	47.0	46.6
		ST子会社	百万t-CO₂e	3.9	3.4	4.1	3.8	11.3
		EN Gr	百万t-CO₂e	0.387	0.422	0.482	0.234	0.486
		SH Gr	百万t-CO₂e	0.0319	0.0316	0.0311	0.0298	0.0343
	Scope1	全社	百万t-CO₂e	51.9	49.0	47.4	44.0	50.0
		ST Gr	百万t-CO₂e	51.5	48.6	47.0	43.8	49.6
		ST	百万t-CO₂e	48.8	46.4	44.1	41.2	40.3
		ST子会社	百万t-CO₂e	2.7	2.2	2.9	2.6	9.3
		EN Gr	百万t-CO₂e	0.345	0.395	0.459	0.215	0.450
		SH Gr	百万t-CO₂e	—	—	—	—	0.003
	Scope2※5	全社	百万t-CO₂	7.1	7.1	7.2	7.0	2.0
		ST Gr	百万t-CO₂	7.0	7.0	7.1	7.0	1.9※3
		ST	百万t-CO₂	5.8	5.9	5.9	5.8	6.4
		ST子会社	百万t-CO₂	1.2	1.1	1.2	1.2	2.0
		EN Gr	百万t-CO₂	0.0418	0.0263	0.0232	0.0189	0.0359
		SH Gr	百万t-CO₂	0.0319	0.0316	0.0311	0.0298	0.0316
GHG原単位(分子：Scope1・2合計、分母：売上高／売上収益)		全社	t-CO₂e/億円	1,352	1,065	1,055	1,050	1,146

※1 集計範囲：GHGプロトコルで定める経営支配力アプローチに基づき算定。2025年度より、JFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事の主要子会社の集計範囲を拡充し、総計205社。

- JFEホールディングス
- JFEスチール、国内外主要子会社118社、持分法適用会社2社
- JFEエンジニアリング、国内外主要子会社22社
- JFE商事、国内外主要子会社59社

※2 2024年度まではCO_2のみを対象、2025年度以降はCO_2以外の温室効果ガスも対象に算定

※3 グループ会社間の取引調整のため、2025年度の各内訳の合計値と全社合計値は一致しません。

※4 スチール単体は、2024年度までは日本鉄鋼連盟カーボンニュートラル行動計画基準、2025年度よりGHGプロトコル基準で算定

※5 マーケット基準で算定

JFEグループのGHG排出量(Scope1,2)内訳

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
CO_2排出量・原単位(Scope1,2合計)	CO_2排出量	全社	百万t-CO_2	59.0	56.1	54.6	51.0	51.9
	CO_2原単位(分母：粗鋼生産量)	ST	t-CO_2/t-steel	2.03	2.09	2.06	2.06	2.18
CO_2以外の温室効果ガス排出量※	メタン(CH_4)	全社	百万t-CO_2e	0.1	0.04	0.1	0.2	0.05
	N_2O	全社	百万t-CO_2e	0.03	0.02	0.04	0.04	0.04

※ 集計範囲：JFEスチール、JFEスチールの海外主要子会社1社

JFEグループのGHG排出量(Scope3)

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
Scope3※1※2	全社	千t-CO_2e	20,778	23,184	22,701	21,894	28,217
カテゴリー1 購入した製品・サービス	全社	千t-CO_2e	17,244	19,750	19,118	18,537	13,726
カテゴリー2 資本財	全社	千t-CO_2e	1,221	1,166	1,239	1,127	1,159
カテゴリー3 スコープ1、2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	全社	千t-CO_2e	717	736	760	723	888
カテゴリー4 輸送、配送・上流	全社	千t-CO_2e	454	450	440	434	2,699
カテゴリー5 事業から出る廃棄物	全社	千t-CO_2e	58	62	133	147	75
カテゴリー6 出張	全社	千t-CO_2e	5	4	5	5	8
カテゴリー7 雇用者の通勤	全社	千t-CO_2e	59	49	14	14	19
カテゴリー15 投資	全社	千t-CO_2e	1,022	967	993	906	9,639

※1 集計範囲：2025年度より、JFEスチール、JFEエンジニアリング、JFE商事の主要子会社の集計範囲を拡充しています。
<カテゴリー1,3,4,5,7>
JFEホールディングス、JFEスチール、JFEスチール国内主要子会社25社、JFEエンジニアリング、JFEエンジニアリング国内主要子会社1社、JFE商事
<カテゴリー2,6>
JFEホールディングス、JFEスチール、JFEスチール連結子会社127社、JFEエンジニアリング、JFEエンジニアリン連結子会社89社、JFE商事、JFE商事連結子会社109社
〈カテゴリー15〉
ジャパンマリンユナイテッド、JFEスチールの持分法適用会社37社（国内14社、海外23社）
※2 出典：環境省 グリーン・バリューチェーンプラットフォーム等

エンジニアリング事業におけるGHG削減貢献量

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
GHG削減貢献相当量※	EN Gr	万t-CO_2e/年	1,057	1,114	1,153	1,200	1,291
バイオマス発電	EN Gr	万t-CO_2e/年	286	294	295	312	357
廃棄物発電	EN Gr	万t-CO_2e/年	340	372	380	360	380
その他（消化ガス、地熱、太陽光、風力、廃熱回収、燃料転換、エネルギーサービス、バイオマスサイロ、ロジスティクス商品等）	EN Gr	万t-CO_2e/年	357	359	384	443	461
リサイクル（フロン回収、創エネ含む）	EN Gr	万t-CO_2e/年	74	89	94	85	92

※ 集計範囲：JFEエンジニアリングの国内外事業、J＆T環境、JFEアーバンリサイクル、ドイツの子会社スタンダードケッセル・バウムガルテ（SBG）を含む

エネルギー消費

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
エネルギー消費量・原単位	消費量※1	全社	PJ	654	627	612	567	575
		ST Gr	PJ	652	625	611	566	573
		ST	PJ	602	581	557	519	518
		ST子会社	PJ	49.6	43.9	53.9	46.5	128
		EN Gr	PJ	1.3	1.2	1.2	1.1	1.7
		SH Gr	PJ	0.7	0.7	0.7	0.6	0.7
	原単位（粗鋼生産量）	ST	GJ/t-steel	23.3	24.1	23.7	23.6	24.2
回収エネルギー※2	外部供給率	ST	%	38	37	39	40	0.1
	自社再利用率	ST	%	62	63	61	60	93

※1 グループ会社間の取引調整のため、各内訳の合計値と全社合計値は一致しません。
※2 25年度実績より算定方法を見直し

モーダルシフト化

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
輸送全体	船舶＋鉄道	ST	%	58.3	59.0	57.9	58.7	59.2
	トラック	ST	%	41.7	41.0	42.1	41.3	40.8
輸送距離500km以上	船舶＋鉄道	ST	%	90.0	92.1	93.6	94.8	94.8
	トラック	ST	%	10.0	7.9	6.4	5.2	5.2

算出方法：輸送量（国内、製品、半製品、のべ数）での割合

化学物質

大気への排出

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
SOx排出量※1※3	ST Gr	千t	10.0	9.6	10.3	10.0	10.5
	ST	千t	9.9	9.5	10.2	9.9	10.4
	ST子会社	千t	0.06	0.08	0.08	0.08	0.08
NOx排出量※2※3	ST Gr	千t	23.5	21.1	20.8	20.5	21.5
	ST	千t	23	20.7	20.4	20.1	20.8
	ST子会社	千t	0.5	0.4	0.4	0.4	0.7
ばいじん	ST	千t	1.2	0.9	0.8	0.7	0.8

※1 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社10社
※2 集計範囲：JFEスチールの国内連結子会社9社
※3 表示単位を百万Nm³から千tへ変更しています。

水域への排出

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
COD（化学的酸素要求量）	全社※1	t/日	3.1	3.1	2.6	2.5	2.4
	ST	t/日	2.9	2.8	2.3	2.4	2.3
	ST子会社	t/日	0.23	0.25	0.27	0.09	0.04
	EN※2	kg/日	8.4	6.6	4.8	5.8	9.2

※1 集計範囲：総計10社（JFEスチール、JFEスチール国内連結子会社8社、JFEエンジニアリング）
※2 年間の最大値を報告しています。

PRTR届出物質

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
PRTR届出物質※1※2	排出量	全社	t	827	750	917	810※3	739
		ST Gr	t	672	609	790	731※3	670
		ST	t	380	366	510	471	420
		ST子会社	t	292	243	280	260※3	250
		EN Gr	t	155	141	126	79	69
	移動量	全社※4	t	9,845	12,809	11,217	11,074※3	7,487
		ST Gr	t	9,811	12,779	11,193	11,049※3	7,440
		ST	t	1,378	1,278	1,192	1,836	964
		ST子会社	t	8,433	11,501	10,001	9,213※3	6,777
		EN Gr	t	34	30	23	25	47
VOC排出量		ST	t	542	513	528	475	441
ベンゼン排出量		ST	t	16	17	16	11	14
ジクロロメタン排出量		ST	t	30	25	25	19	22

※1 集計範囲：
- JFEスチール、国内連結子会社16社
- JFEエンジニアリング、国内連結子会社3社

※2 ダイオキシン類を除く

※3 精度向上のため、数値を遡及して修正

※4 JFE商事はPRTR届出に該当しないため、報告対象外となります。

資源活用

投入資源・供給製品

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
投入資源	鉄鋼原料	ST	百万t	63.4	60.4	56.1	52.4	51.5
	鉄鉱石	ST	百万t	37.6	35.7	33.4	30.9	30.4
	石炭	ST	百万t	19.9	19.1	17.5	16.2	15.8
	石灰石	ST	百万t	5.9	5.6	5.2	5.3	5.3
	リサイクル原料(鉄スクラップ)	ST	百万t	1.2	0.9	0.8	1.1	1.0
	原材料	EN	千t	38.6	27.9	24.0	35.3	44.3
供給製品	鉄鋼製品	ST	百万t	25.9	24.2	23.4	21.9	21.4
	エンジニアリング製品	EN	千t	37.4	27.0	23.0	29.7	35.0

鉄鋼事業の副産物

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
副産物	発生量※1	ST Gr	百万t	14.4	14.1	13.3	12.6	12.5
		ST※2	百万t	13.9	13.5	12.7	12.0	11.9
		ST子会社	百万t	0.5	0.6	0.6	0.6	0.6
	所内リサイクル量	ST	百万t	3.3	2.9	2.9	2.7	2.8
	所内リサイクル率	ST	%	24.0	21.7	22.4	22.8	23.1
	排出量※1	ST Gr	百万t	10.8	10.8	10.1	9.5	9.3
		ST	百万t	10.6	10.6	9.9	9.3	9.1
		ST子会社	百万t	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1
	地域社会での利用量	ST	百万t	10.5	10.5	9.8	9.2	9.1
	地域社会での利用率	ST	%	75.7	77.8	77.0	76.6	76.5
	最終処分量※1	ST Gr	百万t	0.094	0.167	0.180	0.146	0.094
		ST	百万t	0.042	0.073	0.083	0.063	0.044
		ST子会社	百万t	0.052	0.094	0.097	0.083	0.050
	再資源化率	ST	%	99.7	99.5	99.4	99.5	99.6

※1 集計範囲：JFEスチール、国内連結子会社22社
※2 JFEスチールの副産物は、主に海域・陸上・土木用材として、再利用

エンジニアリング事業の廃棄物

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
廃棄物	排出量	EN Gr	千t	249.2	223.7	193.1	151.4	172.0
	オフィス部門	EN	t	235.3	259.4	219.4	263.0	323.9
	生産部門	EN	t	803.0	821.4	705.8	1,571.7	1,157.7
	工事部門	EN	t	190,242.3	162,747.2	134,157.5	60,269.0	85,260.6
	子会社	EN子会社	t	57,960.3	59,841.4	57,990.0	89,319.6	85,300.9
	リサイクル率(オフィス部門)	EN	%	96.1	96.4	92.1	93.0	93.8
	リサイクル率(生産部門)	EN	%	46.8	54.0	50.4	53.9	24.4
	リサイクル率(工事部門)	EN	%	98.6	99.3	97.5	97.3	95.5
	最終処分量	EN	t	3,035.6	1,456.7	3,497.5	1,956.9	4,305.5
	オフィス部門	EN	t	7.4	7.7	7.4	13.3	14.3
	生産部門	EN	t	322.6	287.7	235.2	344.3	625.0
	工事部門	EN	t	2,705.6	1,161.3	3,254.8	1,599.3	3,666.2
	再資源化率	EN	%	96.5	97.4	96.1	92.6	90.7

※ 集計範囲：JFEエンジニアリング、国内連結子会社10社

JFEエンジニアリング(現地工事部門)の廃棄物

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
がれき	発生量	EN	t	159,309	141,888	119,708	46,853	53,634
	リサイクル率	EN	%	99.4	99.9	97.8	99.6	97.7
	最終処分量	EN	t	940	173	2,632	189	1,223
汚泥	発生量	EN	t	24,350	14,806	9,679	4,827	19,083
	リサイクル率	EN	%	96.9	99.0	99.3	97.1	99.4
	最終処分量	EN	t	683	130	56	104	113
がれき・汚泥を除く産業廃棄物	発生量	EN	t	6,583	6,054	4,771	8,589	12,544
	リサイクル率	EN	%	81.6	84.4	87.1	83.9	66.8
	最終処分量	EN	t	1,083	858	566	1,307	2,331

JFE商事の紙消費

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
紙(コピー用紙)消費量	SH	箱	3,033	2,860	2,934	3,089	2,717
	東京	箱	1,471	1,376	1,396	1,374	1,149
	大阪	箱	337	351	391	679	654
	名古屋	箱	154	177	162	165	181
	支店	箱	1,071	956	985	871	733

水使用

取水・排水

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
水受入量※1	全社	百万t	246	240	225	228	226
	ST Gr	百万t	245	239	224	227	224
	ST	百万t	226	220	208	210	208
	ST子会社	百万t	18.7	18.2	16.1	16.5	16.7
	EN Gr	百万t	1.141	1.35	1.24	1.36	1.69
	SH Gr	百万t	0.154	0.154	0.144	0.143	0.134
排水量※2	ST Gr	百万t	144	143	139	137	135
	ST	百万t	128	128	125	124	121
	ST子会社	百万t	15.6	15.4	13.9	13.3	13.6
	EN	百万t	0.132	0.122	0.122	0.107	0.088
水総使用量※2	ST Gr	百万t	3,442	3,475	3,242	2,974	2,890
	ST	百万t	3,207	3,242	3,035	2,748	2,672
	ST子会社	百万t	235	233	207	226	218
蒸発量	ST	百万t	98	92	83	76	87
排水・蒸発率	ST	%	7.0	6.8	6.9	7.3	7.8
循環量※2	ST Gr	百万t	3,197	3,237	3,017	2,747	2,666
	ST	百万t	2,981	3,022	2,826	2,538	2,465
	ST子会社	百万t	216	215	191	209	201
循環率※2※3	ST	%	93.0	93.2	93.1	92.4	92.2
	ST子会社	%	92	92	92	93	92

※1 集計範囲：
- JFEスチール、国内連結子会社22社
- JFEエンジニアリング単体、国内連結子会社5社
- JFE商事の国内外連結子会社35社

※2 集計範囲：JFEスチール、国内連結子会社22社

※3 工業用水循環率(%)＝(総使用量－工業用水受入量)／総使用量×100

取水先・排水先内訳

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
総水受入量	事業会社2社※	百万t	226.1	220.4	208.4	210.1	207.7
河川・湖		百万t	0	0	0	0	0
地下水		百万t	0	0	0	0	0
工業用水・上水道		百万t	226.1	220.4	208.4	210.1	207.7
海		百万t	0	0	0	0	0
雨水		百万t	0	0	0	0	0
その他の取水源		百万t	0	0	0	0	0
総排水量	事業会社2社※	百万t	128.8	128.5	125.8	124.3	121.8
海洋		百万t	128.3	128.1	125.4	123.9	121.4
地表水		百万t	0	0	0	0	0
地下／井戸		百万t	0	0	0	0	0
敷地外の水処理		百万t	0.4709	0.4300	0.4158	0.4168	0.3903
有益／その他の用途		百万t	0	0	0	0	0
その他の放流先		百万t	0	0	0	0	0

※ 集計範囲：JFEスチール、JFEエンジニアリング

環境マネジメント

環境マネジメントシステム

項目		対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
ISO14001認証のカバー率	拠点	全社	%	54	52	52	52	52
		ST Gr	%	18	44	44	44	42
		EN Gr	%	8	44	43	43	47
		SH Gr	%	27	64	64	64	64
	従業員	全社	%	68	67	72	66	63
		ST Gr	%	72	70	72	71	64
		EN Gr	%	50	50	47	48	50
		SH Gr	%	83	81	80	78	78
環境監査(サイト数)		ST Gr	カ所	29	28	27	25	26
		EN Gr	カ所	52	50	52	53	46
環境教育実績(のべ受講者数)		EN Gr	名	1,131	889	897	1,282	771

環境会計

環境保全コストの内訳		2023年度		2024年度		2025年度	
		投資額(億円)	費用額(億円)	投資額(億円)	費用額(億円)	投資額(億円)	費用額(億円)
マネジメント	環境負荷の監視・測定、EMS関連、環境教育・啓発など	12	24	1	28	2	28
地球温暖化防止	省エネルギー、エネルギー有効利用など	195	365	63	360	38	302
	工業用水の循環	49	257	20	226	15	241
資源の有効活用	自社内発生物のリサイクル、廃棄物管理など	0	57	71	52	4	59
環境保全	大気汚染の防止	69	307	60	282	40	296
	水質汚濁の防止	18	115	33	149	15	155
	土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下の防止	0	5	0	5	0	5
その他	賦課金など	—	14	—	7	—	2
研究開発	環境保全(大気、水、土壌など)・省エネルギー・地球温暖化防止のための技術開発	10	94	12	179	12	296
社会活動	自然保護・緑化活動支援、情報公開、展示会、広報など	—	7	—	8	—	8
合計		352	1,244	262	1,296	126	1,392

集計範囲：JFEスチール、ただし研究開発のみJFEエンジニアリングを含む

環境会計（累計）

項目	対象範囲	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
省エネルギー対策投資累計額	全社	億円	5,654	5,708	5,903	5,966	6,005
環境保全投資累計額	全社	億円	7,709	7,971	8,119	8,306	8,382